

ササキリギングチ *Ectemnius furuichii* (Iwata)

【選定理由】

山林の乱開発やシカ等によって林床の植物群が減少したことで生息環境が悪化し、個体数の減少を招いた。

【形態】

体長 9～14mm。体は黒色で腹部第二・三節に黄色の斑紋がある。頭部・胸部の点刻が疎らである。



♀. 瀬戸市定光寺, 2000年9月, 大草伸治 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

豊根村の茶白山、瀬戸市定光寺、豊田市猿投山などの山地において採集されている。

【国内の分布】

本州、対馬。

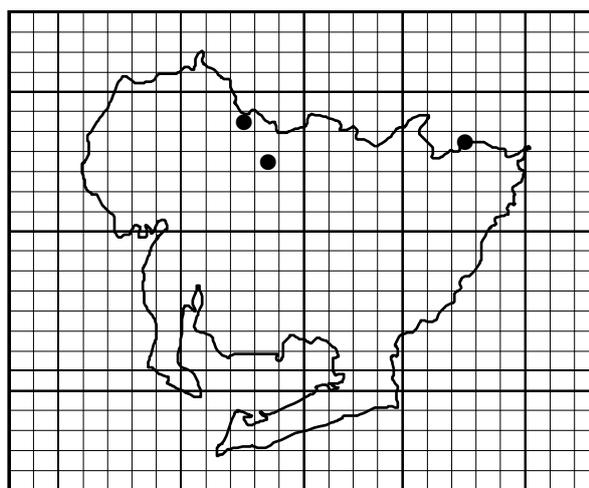
【世界の分布】

朝鮮半島。

【生息地の環境／生態的特性】

バッタ目のササキリの若齢虫を幼虫の餌として集める。

県内分布図



【現在の生息状況／減少の要因】

森林の開発や植林などによる単純化、シカ等による林床植物の激減などが減少の要因だが、元来個体数も少なかった。

【保全上の留意点】

良好な林床を有する森林の保全と育成が重要である。

(2009年版を一部修正)